

- 開催日：2018年12月6日(木)
- 参加者数：11名(KDF会員5名)
- 案内人：中村 實(KDF会員)
- 主催：公益社団法人かながわデザイン機構



関内駅

AM10:00JR 根岸線関内駅集合、雨の中歩き始める。5分程で駅のそばにある横浜球場のすぐ隣にある彼我(ひが)公園に着く。山手公園に次ぐ古さでこの日本庭園は明治49年に作られたもの。冷たい雨と落ち葉が相まって都会の中とは思えないほど静寂の中にあった。中に蹲踞(つくばい)と水琴窟もある。関内駅に戻る途中、「港町魚市場跡」と彫られた石碑がある。ここには明治7年から昭和6年まで市場のあった所。現在は神奈川県山内町の中央卸売場に移転している。



～石川町駅

関内駅から乗り、隣の石川町駅で下車する。駅の前を流れる中村川に架かる橋に上がると前に横浜山手中華学校の文字が付いた大きな学校が見える。幼稚園から中学校まで600人余りの生徒で、建物もとにかく大きい。入学希望者が中華系以外に日本人にも多いようで、なかなか狭き門になっているようだ。台湾出身者の為の学校は又別になる。又振り返ると、上の方に外交官の家と山手イタリア山庭園が見える。外交官の家は明治43年に東京渋谷区に建てられたものを平成9年に移築したものの。国の重要文化財。



～山手駅

石川町駅から一駅山手駅で下車する。横浜にある4か所の外人墓地の一つ根岸外人墓地に雨の中坂を上って到着。墓地の通路には落ち葉が山積みになって雨に濡れていた。この墓には国籍もいろいろ、地位の低く、恵まれない人や、米軍基地も近く、生まれて欲しくないと思われた水子が多く葬られているという。墓の様式も様々だ。墓の数と埋葬者の数は全く合わない。雨とはいえ寂しげだ。



～根岸駅

山手駅から更に一駅隣の根岸駅で降りる。駅からバスで根岸森林公園前で下車。雨にけぶる木々が茫洋としていい感じだ。公園の入り口から遥か向こうにJ.H. モーガンの設計で建てられた旧根岸競馬場の一等馬見所が立っている。外国人の為に社交用競馬場として造られ、華やかな外交を繰り広げた時代があったが、1923年の関東大震災で被災しそれ以降、打ち捨てられている。観覧スタンドや第二馬見所はもはや残っていない。



～孤裡庵～金刀毘羅鷲鳥神社

バスで移動、伊勢佐木長者町停留所で降り、大通公園沿いに歩く。路地に入った所のレストラン「孤裡庵」でランチを頂く。店内はクリスマスモードで飾られ、重厚な家具によく合い、ホッとする。全員ハンバーグ定食を頂いたが、とても美味しかった。お店のマスターも奥様も感じよく対応して頂いた。お肉のソースに自信があるそうだ。

食後歩いて2分位のところの金刀毘羅鷲鳥神社に参拝する。神社の石票には桂歌丸と大きく彫られていた。自宅は近い。亡くなられて残念。



横浜橋商店街～伊勢佐木町

金刀毘羅鷲鳥神社から通り一本隣の横浜橋商店街がある。この商店街は驚くほど活気があり安い。中国系、韓国系もいろいろ混じっていて買い物も楽しめそうだ。この商店街の続きに三吉商店街があり、その端に三好演芸場がある。入場料2200円だそうだが、こちらも元気そうだ。その隣に日本で初めての石鹼工場跡地がありその碑がっている。残念ながらその会社は一代で終わっている。その後伊勢佐木町に行きこの商店街の中にある青江三奈の伊勢佐木ブルースの碑のそばで歌を聴き、近くのカフェで休憩、解散。



(文責 今井郁子)